

公開シンポジウム



# 「我が国の衛星地球観測計画」

**日時** 平成29年7月18日(火)13:00～18:00

**場所** 日本学術会議 (日本学術会議講堂)

東京都港区六本木 7-22-34 <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>

**参加申込** (オンライン) 定員になり次第締め切り

<http://www.eorc.jaxa.jp/event/2017/ev170602.html>



**主催** 日本学術会議地球惑星科学委員会地球・惑星圏分科会

**共催** 今後の宇宙開発体制のあり方に関するタスクフォース会合・リモートセンシング分科会 (TF リモセン分科会)

**後援** 公益社団法人日本地球惑星科学連合, 公益社団法人日本気象学会, 一般社団法人日本リモートセンシング学会, 一般社団法人日本写真測量学会, 一般社団法人水産海洋学会, システム農学会, 一般社団法人水文・水資源学会, 日本沙漠学会, Future Earth

## 開催趣旨:

地球温暖化や地球規模の環境問題が顕在する今日、全球を常時一様に観測できる地球衛星システムが重要な役割を果たしている。その大規模な予算を支えるためには国内および世界的な視野から、有効で持続可能な将来計画を学術界の英知的な視点に立って構想する必要がある。このような計画策定は、これまで宇宙開発戦略本部を中心とした関係省庁、宇宙機関において実施されてきた。しかし、高度化した衛星がすでに重要な社会的インフラとして機能している今日、政府からのトップダウンの要請と広い視野に立った社会・学術界からのボトムアップの要請を擦り合わせた地球観測のあり方の検討と将来構想立案が必要である。

地球衛星観測においては、資源探査を含めた地球表面状態の観測と、気象気候の監視・解明・対策に貢献する観測という二本の重要な柱があり、すでに双方共に現代社会にとって欠かすことのできない非常に重要なインフラである。我が国の宇宙利用の資源に限られる中でも、将来的に地球監視と気候監視のどちらも欠いてしまうことのないよう、喫緊に十分な議論を尽くし、社会の理解を求めていく体制を強化し、将来的な宇宙基本計画工程表への反映を図る必要がある。

このような状況を踏まえ、日本学術会議では、我が国と世界の地球観測衛星プログラムの科学的、社会的貢献の精査を通して、有効で持続可能な将来構想の提示を行うために、地球観測の将来構想に関する検討小委員会を設置し、衛星地球観測の現状把握、衛星観測によって生み出された科学的成果と社会貢献の把握、これに基づく将来の我が国の衛星地球観測のあり方に関する提言を作成してきた。本シンポジウムでは、小委員会による成果を紹介するとともに、内閣府宇宙政策委員会による将来展望、関係省庁、学協会などからの意見とニーズを確認し、我が国の衛星地球観測の将来計画について多角的に検討することを目的とする。

# 公開シンポジウム「我が国の衛星地球観測計画」



## 第一部 司会：高藪 縁（東京大学大気海洋研究所教授）

### 13:00 開催挨拶

藤井 良一（日本学術会議第三部会員、情報・システム研究機構 機構長）

### 13:05 趣旨説明

佐藤 薫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

### 13:10 宇宙基本計画・工程表について

高田 修三（内閣府宇宙開発戦略推進事務局長）（予定）

### 13:30 UN 持続可能な開発目標

福士 謙介（東京大学サステナビリティ連携研究機構教授）

### 13:50 我が国の地球観測の将来計画に関する提言

六川 修一（東京大学大学院工学系研究科教授、TF リモートセンシング分科会代表幹事）

### 14:10 我が国の地球観測の将来計画に関する提言 - 科学技術側面

本多 嘉明（千葉大学環境リモートセンシング研究センター准教授、TF リモートセンシング分科会  
科学研究高度化 WG 長）

## 第二部 司会：高藪 縁（東京大学大気海洋研究所教授）

### 14:40 地球科学における衛星観測の役割

中島 映至（日本学術会議連携会員、宇宙航空研究開発機構地球観測研究センター（EORC）センター長）

### 14:55 我が国の地球衛星観測の現状と将来について - 気候監視の側面から

早坂 忠裕（東北大学大学院理学系研究科教授）

### 15:20 将来の我が国の衛星地球観測のあり方に関する提言

佐藤 薫（日本学術会議連携会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

## 第三部

### 16:10-17:30 パネル討論

モデレータ：安岡 善文（東京大学名誉教授）

パネリスト（予定、五十音順）：

岡本 幸三（気象庁気象研究所台風研究部第二研究室長）

竹本 明生（環境省地球環境局研究調査室室長）

館 和夫（宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門宇宙利用統括）

鶴田 将範（経済産業省製造産業局航空機武器宇宙産業課 宇宙産業室室長）

中村 尚（日本学術会議第三部会員、東京大学先端科学技術研究センター副所長・教授）

新田 隆夫（総務省 情報通信国際戦略局宇宙通信政策課長）

福田 洋一（日本学術会議連携会員、京都大学大学院理学系研究科教授）

松井 俊弘（内閣府宇宙開発戦略推進事務局 参事官）

山之内裕哉（文部科学省研究開発局宇宙開発利用課企画官）

六川 修一（東京大学大学院工学系研究科教授、TF リモートセンシング分科会代表幹事）

### 17:30-17:40（おわりに）Future Earth から期待すること

春日 文子（日本学術会議連携会員、国立環境研究所特任フェロー、フューチャー・アース  
国際本部事務局日本ハブ事務局長）

※お問合せ：新倉英子（東京大学大気海洋研究所）niikura@aori.u-tokyo.ac.jp

（メールのサブジェクトに「公開シンポ」を付けてください。）参加のお申込は、表題下のオンライン登録にてお願いします